

**コロナ禍状況の保育所・幼稚園・認定こども園における休園・登園自粛
への対応と子どもたちへの影響に関する調査**

-中間報告-

【回答者の概要】

調査対象：こども環境学会ホームページにより、全国の保育所・幼稚園・認定こども園
に回答をお願いした。

実施期間：2020年7月15日から8月15日

回答者数：273

所在地：首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）	39.6%	} 76.3%
広島	23.1%	
福岡	13.6%	
その他	23.7%	

種別：保育所	54.6%	[私立 81.7%	
認定こども園	25.6%		公立 15.0%
幼稚園	18.7%		

園児数：50名未満	9.9%
50～100名未満	30.8%
100～200名未満	42.9%
200名以上	16.6%

職員数：10名未満	2.6%
10～20名未満	23.8%
20～40名未満	53.1%
40名以上	20.5%

園の保育のタイプ：「遊びと一斉活動の統合的な保育」	72.2%
「遊びが中心の保育」	24.5%
「一斉活動が中心の保育」	2.9%

【中間報告集計結果の留意点】

- ・本中間報告では、結果の概要、傾向をわかりやすく示すため、個々の詳細な数値は表記しておりません。
- ・各設問の集計において、段階評価によって回答を得たものについては、たとえば、「非常に良かった」「よくあった」を「あった」、「あまりなかった」「全くなかった」を「なかった」として示しています。他の段階評価も同様の整理を行いました。
- ・「その他」の数値については、記載しておりません。したがって、割合の「%」の数値は、四捨五入の関係もあり、合計が100%にならない場合があります。
- ・各設問項目の「その他」、自由回答については、後日分析終了後、ご報告いたします。

1. 感染症対策を踏まえた保育方針の判断基準で最も重視したものは？

「自治体の方針」によった園が約6割であったようである。

「自治体の方針」56.8% > 「独自の判断」19.0% > 「国の方針」17.6%

2. 登園自粛期間中の登園児数割合は？

「1割未満」 17.8%

「1割以上3割未満」31.1%

「3割以上5割未満」29.6%

「5割以上7割未満」10.7%

「7割以上」 6.7%

3. 登園自粛期間中に少人数体制の保育を実施した場合、手厚い対応ができたか？

「手厚い対応ができた」との回答が約8割を占めた。

「手厚い対応ができた」76.7% > 「手厚い対応ができなかった」23.3%

4. 休園中あるいは登園自粛中の保護者の連絡方法は？

「紙による手配布」が基本、それに「メール」、「電話」の併用となっているようである。

「紙による手紙配布」73.3%

「メール」 64.5%

「電話」 61.2%

5. 保護者への連絡はスムーズに行われたかどうかは？

今回のような緊急、異常事態にもかかわらず、「できた」87.2% > 「できなかった」12.8%と保護者との連絡はスムーズに行われたようである。

「できた」87.2% > 「できなかった」12.8%

6. 園児への連絡はスムーズに行われたかどうかは？

「できた」が上回っているが、保護者への連絡のスムーズさに比べると、低かったようである。

「できた」59.3% > 「できなかった」40.7%

7. 連絡を取るための負担はどうであったか？

「負担ではなかった」 54.9% > 「負担だった」 45.1%と、「負担ではなかった」が若干上回る。

「あまり負担ではなかった」	48.3%
「負担だった」	37.4%
「非常に負担だった」	7.7%
「全く負担ではなかった」	6.6%

【休園中あるいは登園自粛期間中における保護者への対応について】

8. 休園中あるいは登園自粛期間中に園から保護者に依頼したことは？

「園児がコロナウイルスに感染した場合、連絡するようにした。」 72.2%であったが、逆に、「園児がコロナウイルスに感染した場合」において、約3割の園では保護者からの連絡を求めているわけではないようである。

「園児に発熱等の症状があった場合、連絡するようにした。」	75.5%
「家族がコロナウイルスに感染した場合、連絡するようにした。」	72.9%
「家族から相談がある場合は、園に連絡をするよう伝えた。」	72.5%
「園児がコロナウイルスに感染した場合、連絡するようにした。」	72.2%
「休園もしくは登園自粛をしている間、園を利用せざるを得ない保護者に利用する予定を書面等で確認した。」	63.4%
「家族に発熱等の症状があった場合、連絡するようにした。」	63.0%

9. 休園中あるいは登園自粛期間中における保護者からの問い合わせは？

休園中あるいは登園自粛期間中における保護者からの問い合わせが「なかった」との回答が比較的高率を示しているのは、園から保護者への連絡がスムーズに行われていたことによるものと推察される。

「開園もしくは登園自粛期間解除の時期」	「なかった」 66.3%	>	「あった」 33.7%
「預かりの依頼」	「なかった」 68.5%	>	「あった」 31.5%
「休園期間中の家庭での園児への対応」	「なかった」 67.0%	>	「あった」 33.0%
「保護者のストレスや悩み相談」	「なかった」 87.9%	>	「あった」 12.1%
「休園期間中の相談窓口」	「なかった」 91.2%	>	「あった」 8.8%

【休園期間終了あるいは登園自粛期間終了後の感染防止対策について】

10.登園時の対応は？

登園前の家庭での対応に重点が置かれ、次いで園内に入ってから対応となっている。

「発熱などの風邪症状が見られた場合は、登園を控えてもらっている。」	96.3%
「毎朝、登園前に各家庭で、検温及び健康観察の記録をお願いしている。」	90.1%
「園舎内に入る際の検温及び健康観察で異常が認められた場合は、帰宅させている。」	74.4%
「園舎内に入る際に、検温及び健康観察を行っている。」	63.4%
「マスクの着用を確認している。」	53.8%
「登園後は、手洗いを済ませてから保育室に入れている」	48.0%

11.スクールバスでの対応は？

本アンケートの回答者のうち、「スクールバスはない」が70.3%であった。スクールバスを運用する園では、主に「換気」に気を付けている点が比較的高率であった。

「換気のため通園バスは窓を開けて換気している。」	92.6%
「発車後は換気機能（外気導入）を作動させて運行している。」	71.6%

12. 室内の生活の工夫は？

「座り方」の工夫が多数を占めた。次いで「食事の時の会話の禁止」があがっているが、「座り方」に較べると圧倒的に少ない。

「クラスでの集りの時の座り方を変える。」	73.6%
「食事の時の会話の禁止」	19.8%
「保育室に間仕切り（スチール）を設ける。」	12.8%
「廊下の歩行等のルールを設ける。」	12.1%
「歌は原則、歌わない。」	11.0%

13.こどものマスクの3歳以上における着用は？

「保護者の判断」34.1%、「マスクはつけない」15.0%が特徴的であり、園の方針として必ずマスクを着けることにしているわけではないようである。

「保護者の判断」	34.1%
「原則マスクをつける」	20.9%
「マスク推奨の方向」	16.5%
「マスクはつけない」	15.0%

14.消毒については？

消毒については、その園の方針により、それぞれの判断で実施されているようである。

「必要に応じて行っている」	31.5%
「定期的に行っている」	28.9%
「使用の都度行っている」	20.1%
「1日に1回行っている」	13.6%

15.ソーシャルディスタンスについては？

「保育者の声掛けで適宜対応」53.1%、「遊び方に人数や距離を規定」12.8%、「群れる遊びを原則禁止」1.8%と、ソーシャルディスタンスに注意している園が、67.7%と高率であったが、「あまり意識していない」も23.1%あった。

「保育者の声掛けで適宜対応」	53.1%
「あまり意識していない」	23.1%
「遊び方に人数や距離を規定」	12.8%
「群れる遊びを原則禁止」	1.8%

16.こどもへのスキンシップは？

「必要に応じての対応」「これまで通り積極的に行う」の「スキンシップ肯定派」が90.1%で圧倒的であるが、「スキンシップは控える方向」「スキンシップはしない」の「スキンシップ否定派」も8.4%あった。

「必要に応じての対応」	64.8%
「これまで通り積極的に行う」	25.3%
「スキンシップは控える方向」	7.7%
「スキンシップはしない」	0.7%

17.保育者のマスク装着については？

「保育中マスクは外さない」「必要に応じてはずす」「こどもにかかわらない場面で外す」で88.2%を占め、保育者は原則としてマスクを着用して保育にあたることが読み取れる。

「保育中マスクは外さない」	45.4%
「必要に応じてはずす」	35.5%
「こどもにかかわらない場面で外す」	7.3%
「マスク以外の方法を用いて表情を見せる工夫」	3.3%

【保護者の理解・信頼関係について】

18. 保護者の「子ども同士の群れ遊び」への理解は？

保護者の理解がある園が圧倒的である。

「理解があった」93.8% > 「理解がされなかった」6.2%

19. 保護者の「どろんこ遊びなど外遊び」への理解は？

これも保護者の理解がある園が圧倒的である。

「理解があった」94.1% > 「理解がされなかった」5.9%

20. 現在の保護者との信頼関係は？

保護者と園の信頼関係は、万全との認識が示された。

「よい」100.0% > 「よくない」0%

【休園期間終了あるいは登園自粛期間終了後のこどもへの対応の変化、こどもの変化について】

21. 外遊びの実施状況は？

「これまで通り積極的に実施」93.4%が、「消極的・禁止する方向」4.4%を大きく上回る。

「これまで通り、積極的に実施している。」	54.9%
「制限はあるが、積極的に実施している。」	38.5%
「制限をして、やや消極的に実施している。」	3.7%
「外遊びは禁止にすることが多い。」	0.7%

22. 外遊びの変更については？

外遊びについては、その実施方法を工夫するなどして、これまでどおり「外遊び」を実施していく園が多い。

「特になし」	53.5%
「内容を変える」	29.3%
「回数を増やす」	10.3%
「時間を増やす」	9.9%
「場所を増やす」	5.9%

23. 「遊び込む保育」が制限されている？

「遊び込む保育」の制限は、約6割の園で制限されていないようである。

「思わない」61.9% > 「そう思う」38.1%

24. こどもとのスキンシップは減少している？

「こどもとのスキンシップの減少」も、約6割で減少していないようである。

「思わない」61.5% > 「そう思う」38.5%

25. こども同士のスキンシップは減少している？

「こども同士のスキンシップの減少」は、3/4の園で減少していないとの認識である。

「思わない」74.7% > 「そう思う」25.3%

26. 外遊びは減少している？

外遊びは減少していないが、約8割であった。

「思わない」79.5% > 「そう思う」20.5%

27. 保護対応者で難しさを感じている？

保護者対応への難しさについては、半々といった状況のようである。

「思わない」50.9% > 「そう思う」49.1%

28. コロナ対策で保育者は疲弊している？

約7割がコロナ対策で保育者が疲弊していると答えている。

「そう思う」70.7% > 「思わない」29.3%

29. 園児の運動能力の発達は遅れているか？

園児の運動能力の発達の遅れに対しては、意見が分かれるようである。

「思わない」52.7% > 「そう思う」47.3%

30. 園児の生活習慣の醸成に遅れはあるか？

園児の生活習慣の醸成の遅れについては、約6割が思わないと答えている。

「思わない」56.8% > 「そう思う」43.2%

31.園児の人とのかかわり方の遅れは？

園児の人とのかかわり方の遅れは、35.6%が感じており、気になるところである。

「思わない」64.5% > 「そう思う」35.5%

32.園児の保育者との信頼関係の遅れは？

園児の保育者の信頼関係の遅れは、3/4で「思わない」と回答されており、心強い。

「思わない」75.5% > 「そう思う」24.5%

33.園児の社会性の遅れは？

園児の社会性の遅れも、「思わない」と約7割が回答している。

「思わない」67.4% > 「そう思う」32.6%

34.園児の自然等とのかかわりの遅れは？

園児の自然等との関わりの遅れは、意見が分かれるようである。

「思わない」52.4% > 「そう思う」47.6%

35.園児の言葉の発達の遅れは？

園児の言葉の発達の遅れは、約85%で「思わない」と認識されているようである。

「思わない」84.6% > 「そう思う」15.4%

36.園児の作ったり、描いたり、歌ったりする表現力の遅れは？

園児の表現能力のおくれは、約70%の園でないとの認識である。

「思わない」69.6% > 「そう思う」30.4%

37.園児の家庭での生活のリズムの不規則によるマイナスの影響は？

意見が分かれるようであるが、毎日の規則正しい登園は、園児の生活リズムの醸成には大きな役割を果たしているようにも見受けられる。

「そう思う」54.6% > 「思わない」45.4%

38.園児の家庭でのゲームやメディア接触時間によるマイナスの影響は？

やはり、家屋内で過ごす時間が多くなると、どうしてもテレビゲームなどで遊ぶ時間が多くなるようである。

「そう思う」62.3% > 「思わない」37.7%

39. 園児の家庭でのワークブックなど知育時間の増大によるマイナスの影響は？

約75%が「思わない」と答えている。

「思わない」74.4% > 「そう思う」25.6%

40.園児の家庭での家族との関わりの増大によるプラス面の効果

コロナウィルス禍の悪い影響ばかりではなく、約65%で肯定的な評価もあった。

「そう思う」64.5% > 「思わない」35.5%

【行事への対応について】

41.運動会等の保護者が集まる行事についての対応は？

保護者が集まる行事については、おおむね何らかの工夫をして実施する方向であるが、「中止にした（中止を検討）。」22.3%もかなりの割合である。「これまでとほぼ同様に実施。」0.4%にとどまり、コロナ禍の影響が非常に大きいことが窺える。

「子どもだけで日常生活の中で実施。」	26.0%
「中止にした（中止を検討）。」	22.3%
「規模などを縮小してこれまで通り実施。」	20.9%
「保護者が参加せずに実施（あるいはオンラインで）。」	8.4%
「これまでとほぼ同様に実施。」	0.4%

【現在、困っていることについて】

42.現在、困っている点は？

「対応に追われ、職員の負担が増加している。」57.9%、「保護者対応」24.5%、「職員の確保が困難となっている。」19.0% であるにもかかわらず、「職員の離職が懸念されている。」8.4%、「財政面から園の存続が危ぶまれている。」4.4%と少ないのは、園、保育者双方の意識の高さ、努力の賜物と思われる。

「対応に追われ、職員の負担が増加している。」	57.9%
「保護者対応」	24.5%
「園児の指導よりも、対策が中心となっている。」	21.2%
「マスクや消毒液など対策に必要な備品の確保に支障がある。」	34.1%
「職員の確保が困難となっている。」	19.0%
「職員の離職が懸念されている。」	8.4%
「財政面から園の存続が危ぶまれている。」	4.4%

以上。